

W7 (Women 7)について

2018年7月10日(火)
アジア・太平洋人権情報センター所長
国連ウィメン日本協会副理事長
三輪 敦子

本日の構成

- W7とは
- カナダW7の目的
- カナダW7の概要とプログラム
- 提言の内容
- 成果とレポートカード(評価シート)
- 今後の進展に向けて～リーダーからの強いメッセージ・市民社会との連携

W7とは

- 近年、G7やG20では、関与グループ(Engagement Group)と呼ばれる様々なグループが、自分たちの関心や課題をG7/G20の議論に反映させるために提言をおこなうようになってきている
- C7(市民社会)、Y7(若者)、B7(ビジネス)等と並び、W7(女性)がある
- シャルルボワ(カナダ)でおこなわれた今年のG7サミット(6月8日～9日)に先立ち、4月25日～27日にオタワで開催
- カナダ、他のG7各国、「途上国(グローバルサウス)」から、約60名が参加:今回はほとんど全員がNGO
- 今年のW7のテーマ: Feminist Visions for the G7(G7へのフェミニストのヴィジョン)

W7の目的

- 2018年G7に先立ち、フェミニスト首相を自任するホスト国のトルドー首相は、「G7のすべての議題でジェンダー平等を優先課題とする」という政策を発表した
- 2017年タオルミーナ・G7サミット(イタリア)で採択された「ジェンダー平等のためのロードマップ」のさらなる進展
- その政策を実施するための諮問機関として、首相自らがジェンダー平等諮問委員会(Gender Equality Advisory Council: GEAC)を設置:世界の21名の専門家から構成。日本からは林陽子女性差別撤廃委員が参加
- W7の目的は、GEACそして首相に対して、①様々な背景を有する女性の声と課題を届け、②女性の課題に取り組むための具体的なビジョンを提言すること
- それによりG7が真剣にジェンダー平等に取り組み、女性の現実に則った議論と決定をおこなうこと

W7の概要／プログラム(1)

- Oxfam Canada等、カナダの7NGOが、組織委員会／事務局を構成。カナダ政府が開催を支援
- 7つの分科会に分かれて議論し提言(コミュニケ)を作成
 - 1) ジェンダーと交差性・複合性
 - 2) 経済的エンパワメント
 - 3) 女性と平和・安全保障
 - 4) 気候変動
 - 5) セクシュアル・リプロダクティブヘルス／ライツ
 - 6) 女性に対する暴力
 - 7) 女性運動／フェミニスト運動

W7の概要／プログラム(2)

4月24日(火)レセプション

G7シェルパ、国際開発大臣、女性の地位大臣が出席・スピーチ

4月25日(水)1日目

7つの分科会での議論およびトルドー首相との対話

4月26日(木)2日目

分科会からの提言のまとめ

GEACとの昼食セッション

首相とGEACによる公開パネルセッションならびにレセプション

4月27日(金)公開朝食イベント: Dear G7: #theFUTUREisFEMINIST





FEMINIST VISION

W7
OTTAWA • 2018

W7 **W7**



OTTAWA · 2018

FEMINIST VISIONS FOR THE G7 • VISIONS FÉMINISTES POUR LE G7





提言の内容(1)

- 1)【ジェンダーと交差性・複合性】すべての課題との関連性、交差性・複合性を理解したデータ収集、交差性・複合性に配慮した意思決定への参加促進
- 2)【経済的エンパワメント】持続可能性・不平等是正の重要性、ディーセントワーク、ケアワークの評価と再配分、女性と労働に関連する条約(特にILOの職場における暴力に関する条約)の批准
- 3)【女性と平和・安全保障】ドナーとしてのG7の役割、紛争解決・平和構築関連予算の50%は「女性と平和・安全保障」に、和平協議・会議の代表の半数を女性(地域の女性含む)に
- 4)【気候変動】気候変動枠組条約へのジェンダー視点の確保、成長経済からの脱却、気候変動の影響に関するジェンダー分析

提言の内容(2)

- 5)【性と生殖に関する健康と権利】 ジェンダー視点に立った「性と生殖に関する健康と権利」へのアプローチ、自律的主体としての女性の身体、生殖に関する健康についての知識・情報・アクセス・選択、刑事罰やグローバル・ギャグ・ルールの撤廃
- 6)【女性に対する暴力】 交差制・複合性の認識(カナダにおける先住民女性の失踪・殺害)、G7各国のGDPの一定割合を「女性に対する暴力」対策に、適切なデータの収集、国際協力や投資の際の条件・留意事項として「女性に対する暴力」への対応・対策を
- 7)【女性運動／フェミニスト運動】 ジェンダー平等に向けた社会変革・女性の人権課題に関する政府理解に果たしてきた役割の認識、女性団体への資金提供、W7への継続的支援

成果とレポートカード(評価シート)

- W7の提言は、全面的にジェンダー平等諮問委員会による首相、そしてG7首脳への提言に反映された<https://g7.gc.ca/en/g7-presidency/gender-equality-advisory-council/>
- G7後、W7に参加していたInternational Center for Research for Women (ICRW)というNGOが中心になって、Report Card on the 2018 G7という文書を作成
- レポートカード(評価シート)の目的:トルドー首相が掲げたジェンダー平等／フェミニストG7に関する目標がどの程度、達成されたかを検討すると同時に、来年のフランスG7に向けた課題を確認すること
- 「ジェンダー平等／フェミニストG7」「経済」「平和・安全保障」「健康」「思春期の少女」の5分野における「声明」「政策」「資金確保」「アカウンタビリティ」に関する公約を検証

今後の進展に向けて

- トルドー首相のメッセージとリーダーシップ:「社会の方が政治家や行政組織よりもずっと意識が進んでいることがある」「物事を前進させるために、あなたたち(W7参加者)の情熱が必要」
- 政治・行政と市民社会の緊密な連携と協力
- W7の議論から:
 - ①交差性・複合性の理解 (Intersectionality) : 女性のなかの多様性
 - ②「脆弱性 (vulnerability) 」ではなく「周縁化 (marginalization) 」が問題
 - ③アカウントビリティ確保の重要性: 前提としての「適切な」データ収集
 - ④未来はフェミニスト! (#theFUTUREisFEMINIST)
- ウェブサイト: www.W7Canada.ca